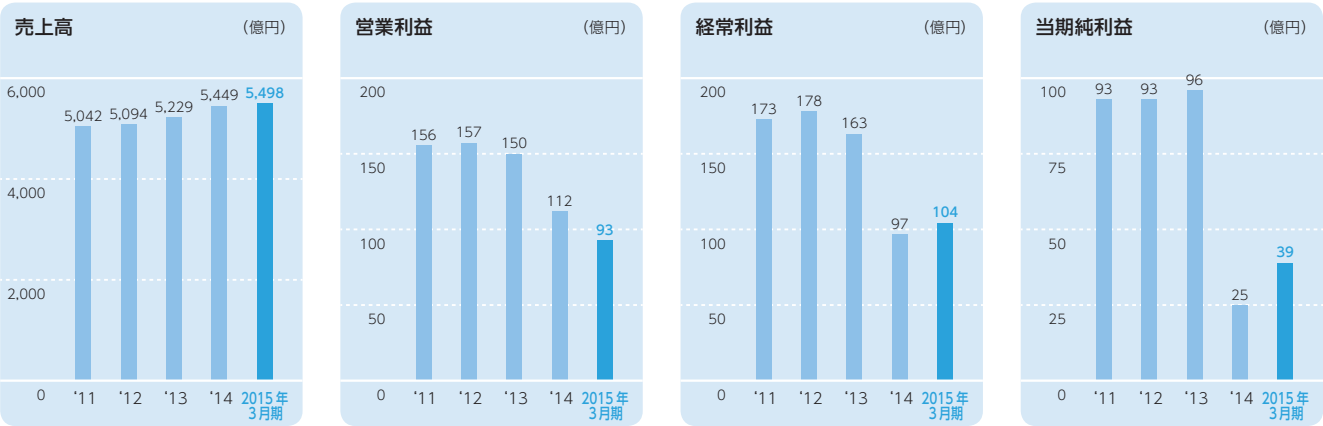


雪印メグミルクグループの概要

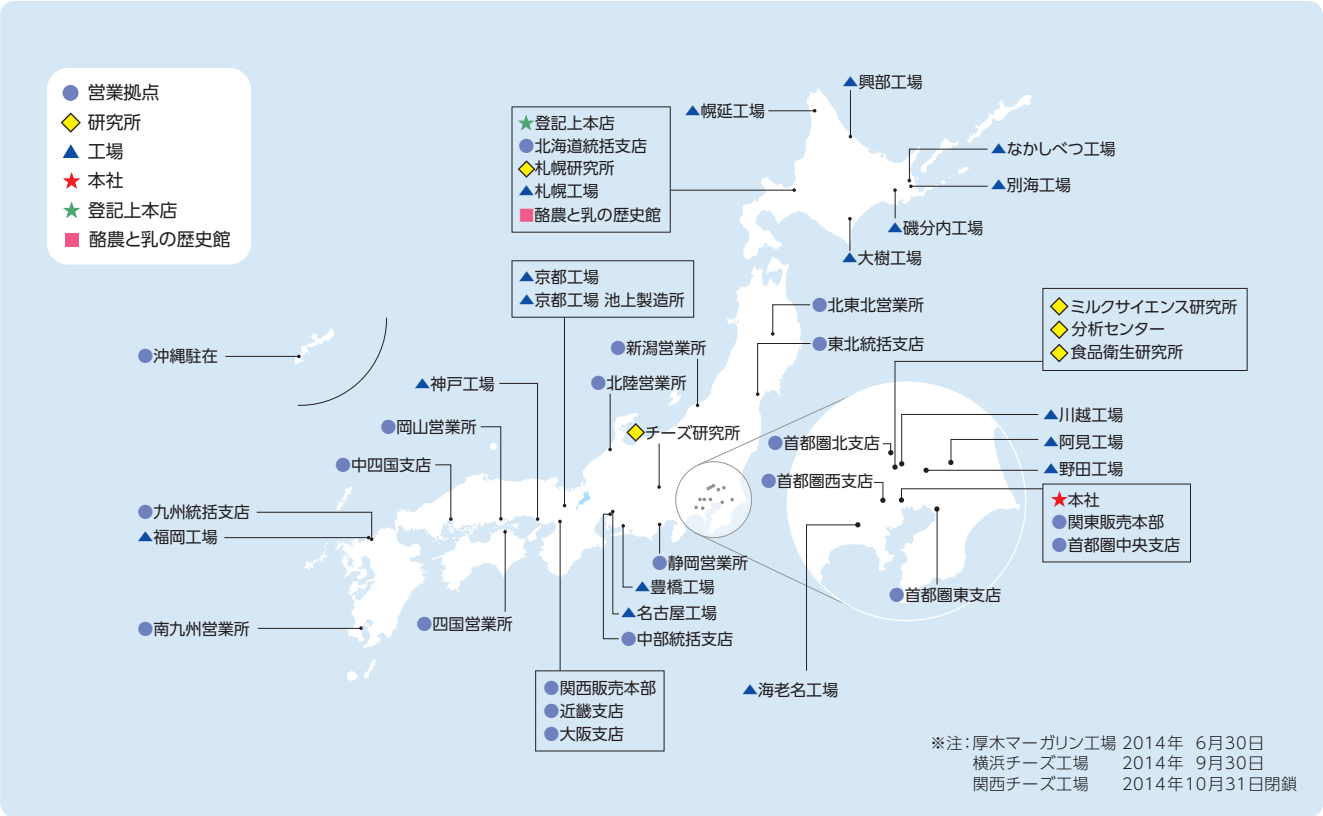
商号	雪印メグミルク株式会社 MEGMILK SNOW BRAND Co.,Ltd.	設立年月日	平成21年(2009年)10月1日
事業内容	牛乳、乳製品および食品の製造・販売等	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 西尾 啓治 平成27年(2015年)4月1日就任
本店所在地	(登記上本店) 北海道札幌市東区苗穂町6丁目1番1号 (本社) 東京都新宿区本塩町13番地	資本金	200億円
		決算期	3月31日

連結経営成績

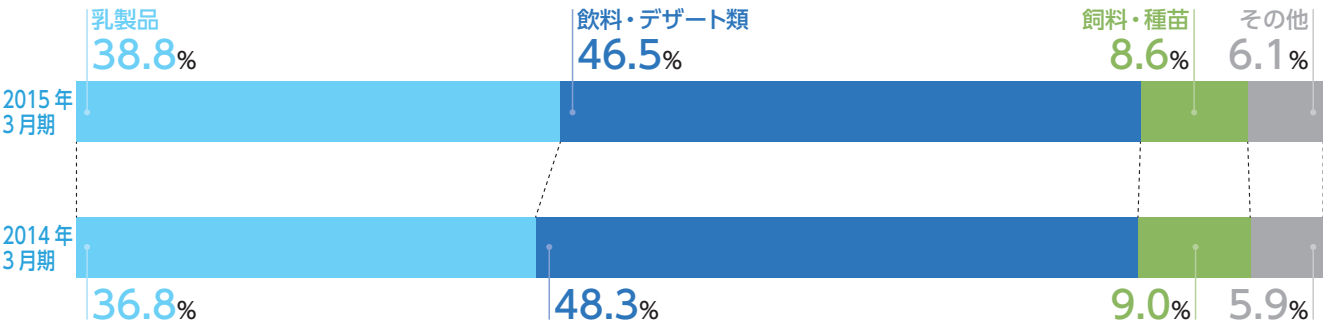


雪印メグミルク事業所一覧

(2015年3月31日現在)



品目別売上構成(連結)



事業内容について

事業内容および事業の種類別セグメントは、下表のとおりです。

	主な製品	会社
乳製品事業 	■ 乳製品 (チーズ・バター・粉乳等) ■ 油脂(マーガリン等) ■ 育児品 (乳児用粉乳等)	雪印メグミルク(株) / ビーンスターク・スノー(株) / ハケ岳乳業(株) / 甲南油脂(株) / チェスコ(株) / (株)エスアイシステム / 雪印オーストラリア(有) / 台湾雪印(株) / 三和流通産業(株) / 雪印タイ(株) / イーエヌ大塚製菓(株) / 協同乳業(株) (合計12社)
飲料・デザート類事業 	■ 飲料 (牛乳類、果汁飲料等) ■ ヨーグルト、デザート類	雪印メグミルク(株) / ハケ岳乳業(株) / (株)エスアイシステム / いばらく乳業(株) / みちのくミルク(株) / 三和流通産業(株) / 協同乳業(株) (合計7社)
飼料・種苗事業 	■ 牛用飼料、 牧草・飼料作物種子 ■ 野菜種子等	雪印種苗(株) / 道東飼料(株) (合計2社)
その他事業 	■ 不動産賃貸 ■ 共同配送センター事業等	雪印メグミルク(株) / (株)フレスコ / (株)雪印パーラー / (株)YBS / (株)エスアイシステム / ニチラク機械(株) / (株)ロイヤルファーム / (株)RFベンケル牧場 / (株)RF青森牧場 / 三和流通産業(株) / 直販配送(株) / 北網運輸(株) / 日本ポート産業(株) / 日本乳品貿易(株) / (株)アミノアップ化学 (合計15社)

雪印メグミルクグループ グループ会社紹介

(2015年3月31日現在)

雪印メグミルクグループグループ会社紹介と
各社CSRリーダーからのメッセージ

CSRの確立に向けて、グループ各社でも
CSRリーダーを中心にCSR活動を推進しています。

雪印種苗(株)

設立	昭和25年12月
資本金	4,643百万円
グループ計持株比率	100.0%
本社所在地	北海道札幌市
代表者	川成 眞美
事業内容	種苗・農畜産物の生産および販売、飼料の製造および販売、造園事業、種苗の品種改良および試験研究



人事総務部
総務課長
山崎 伸明

全ての行動の規範である「雪印種苗行動基準」を一人ひとりに浸透・定着をテーマに、CSRの3つの側面(経済・環境・社会)においてバランス良く活動し、農業振興と環境保全に貢献します。

チェスコ(株)

設立	昭和32年3月
資本金	472百万円
グループ計持株比率	90.9%
本社所在地	東京都新宿区
代表者	本村 直之
事業内容	ナチュラルチーズ・食料品・酒類・雑貨の輸入および製造・加工販売



取締役
管理本部長
佐藤 祐一

世界からの美味しいチーズをお届けし、食卓を豊かにすることが私たちチェスコの使命です。厳選したナチュラルチーズをとり揃え、全国のショップで皆様のお越しをお待ちしております。

(株)エスアイシステム

設立	平成9年1月
資本金	400百万円
グループ計持株比率	100.0%
本社所在地	東京都新宿区
代表者	佐藤 佳嗣
事業内容	チルド・フローズンを中心としたベンダー、マーチャンダイジングと共配センター運営事業



管理部長
町田 良克

CSR活動は従業員一人ひとりの理解と協力が不可欠と考えており、社内報でのCSRに関する情報発信や、CSR社内集合研修を実施するなど普及・促進に取り組んでいます。

ハケ岳乳業(株)

設立	昭和29年1月
資本金	60百万円
グループ計持株比率	100.0%
本社所在地	長野県茅野市
代表者	藤田 昭雄
事業内容	牛乳・加工乳・乳飲料・発酵乳の製造および仕入れ・販売、チーズの加工・運送・取扱業



経営管理部部長
菅井 崇文

1954年創業以来、「安全・安心」をモットーに努力研鑽を積み重ねてきました。「ハケ岳の自然を、そのままご家庭へ」、ハケ岳乳業はより良い食文化の創造を目指しています。

直販配送(株)

設立	昭和55年4月
資本金	30百万円
グループ計持株比率	70.0%
本社所在地	東京都渋谷区
代表者	田邊 良一
事業内容	共同配送センターの運営事業、チルド商品配送事業、一般貨物運送事業



CSR推進部長
忍田 行廣

CSR経営の全社取組みを進めるとともに、チルド物流35年の経験を活かし、安心品質の物流で、信頼と満足をお届けします。

雪印オーストラリア(有)

設立	平成4年12月
資本金	22百万A\$
グループ計持株比率	100.0%
本社所在地	メルボルン(オーストラリア)
代表者	田淵 英司
事業内容	育粉、ナチュラルチーズの製造・販売、乳製品の輸出入



管理部長
来栖 淳

雪印メグミルクグループの知識を結集して作られた粉ミルクやチーズを製造し、アジア・豪州に安心・安全な商品をお届けすることで社会に貢献いたします。

いばらく乳業(株)

設立	昭和34年1月
資本金	118百万円
グループ計持株比率	100.0%
本社所在地	茨城県水戸市
代表者	長谷川 敏
事業内容	牛乳、乳飲料、清涼飲料、発酵乳、デザート等の製造販売



製造第1課長
後藤 照行

1959年創業以来、「健康・安全」に心がけ食文化の向上・発展を目指し、「いばらく」に集う人々との調和・つながりを大切にしながら社会貢献に取り組んでいます。

(株)クレスコ

設立	昭和23年8月
資本金	38百万円
グループ計持株比率	100.0%
本社所在地	東京都北区
代表者	佐野 和生
事業内容	食品資材・軟包装・紙器・容器などの仕入販売



取締役
管理部長
阿部 潤一

当社は、60年余の包装資材の取扱いで培った知識やノウハウに基づいて、経済や環境へ配慮した提案を継続的にかつ誠実にこなうことで、社会に貢献していきます。

みちのくミルク(株)

設立	平成8年10月
資本金	467百万円
グループ計持株比率	100.0%
本社所在地	宮城県大崎市
代表者	小原 勝義
事業内容	牛乳、乳飲料、清涼飲料、発酵乳、デザート等の製造販売



取締役
総務部長
庄子 慶之

当社では、工場見学者の受け入れを積極的に行なっております(年間約4千名)。また、毎年地元で開催される「牛乳消費拡大キャンペーン」等に参画し牛乳およびデザートを提供しております。

三和流通産業(株)

設立	昭和29年1月
資本金	450百万円
グループ計持株比率	100.0%
本社所在地	埼玉県さいたま市
代表者	竹島 昭一
事業内容	日配チルド食品等の卸売事業、共配センター事業



取締役
業務部長
西口 幸雄

当社は1954年創業以来、安心して楽しく召し上がっていただくチルド商品を提案しお届けしてきました。これからも、お客様の喜ぶ顔を通して社会に貢献していきます。

ビーンスターク・スノー(株)

設立	平成14年8月
資本金	500百万円
グループ計持株比率	80.0%
本社所在地	東京都新宿区
代表者	平田 公孝
事業内容	育児用粉乳・離乳食などの育児関連商品および機能性食品などの研究開発・製造・販売



取締役
高木 宏尚

安心してお使い頂ける粉ミルクの提供を柱に、機能性食品など新たなご期待にもお応えし、乳の価値を高めて世の中のお役に立てるよう事業活動に取り組んでいます。

台湾雪印(株)

設立	平成4年12月
資本金	7百万NT\$
グループ計持株比率	100.0%
本社所在地	台北(台湾)
代表者	小原 康嗣
事業内容	育児用粉乳、乳製品等の輸入・販売



経理
(台湾では部長の職)
楊 文海

法規遵守だけでなく+αの取組みを心がけています。最近では再生紙販促物などを使用し、更にCO₂の減少に取り組んでいます。

(株)YBS

設立	昭和46年4月
資本金	30百万円
グループ計持株比率	100.0%
本社所在地	東京都新宿区
代表者	西馬場 茂
事業内容	ビルの総合保守管理、建築業務、損害保険代理業、営業・管理・生産品質等の各種ビジネスサポート業務



常務取締役
町田 幸司

事業所周辺の清掃活動、ペットボトルキャップの回収、本社照明のLED化、清掃業務での知的障がい者インターンシップ受け入れ等、業務に直結した社会貢献を推進しています。

ニチラク機械(株)

設立	昭和29年4月
資本金	50百万円
グループ計持株比率	67.6%
本社所在地	埼玉県さいたま市
代表者	大岡 実
事業内容	食料品製造を主体としたプラントおよび機械の設計、製造、施工、販売、修理およびメンテナンス



総務部 次長
野田 竜介

「酪農・乳業への貢献」を目的として、六次産業化を目指す酪農家にチーズをはじめとする乳製品の製造技術・機器を提供しているエンジニアリング会社です。

グリーンサービス(株)

設立	昭和55年11月
資本金	30百万円
グループ計持株比率	70.0%
本社所在地	東京都調布市
代表者	菅原 尚則
事業内容	共同配送センター運営事業、一般貨物運送事業、自動販売機事業



取締役
業務部長
佐藤 勇

殺菌乳輸送を始めて20年、ユーザーに 応えるべくISO9001を取得。また全車にドライブレコーダーを搭載して、エコドライブ、事故防止に役立てています。

(株)雪印パーラー

設立	昭和36年4月
資本金	30百万円
グループ計持株比率	100.0%
本社所在地	北海道札幌市
代表者	小川 澄男
事業内容	食堂・売店経営、乳製品などの販売



管理部長
首藤 俊昭

お客様満足度向上のため、定期的に社内での従業員研修を行なっています。また、社外での研修(接客・クレーム対応等)にも積極的に参加しています。

道東飼料(株)

設立	平成13年7月
資本金	300百万円
グループ計持株比率	60.0%
本社所在地	北海道釧路市
代表者	橋場 義孝
事業内容	配合飼料の製造・販売



品質管理担当
今田 裕之

常に安全・安心で高品質な養牛用飼料・代用乳を生産して畜産農家にお届けし、安心しておいしい牛乳・牛肉を生産して頂けるよう日々全社員一丸となって頑張っております。

(株)ロイヤルファーム

設立	平成13年2月
資本金	10百万円
グループ計持株比率	48.5%
本社所在地	青森県十和田市
代表者	寺栖 喜久男
事業内容	肉用牛の生産・販売



取締役業務部長
兼指導部長
櫻井 孝夫

「安全で安心の出来る美味しい牛肉」の生産を目指し取り組んでいます。

(株)雪印こどもの国牧場

設立	昭和40年8月
資本金	10百万円
グループ計持株比率	100.0%
本社所在地	神奈川県横浜市
代表者	手島 隆二
事業内容	牧場運営、牛乳の製造、食堂・売店経営



総務企画部長
山口 雅也

今年、開園50周年を迎える当牧場は、牛をはじめとする沢山の動物たちに囲まれ、子供たちの歓声や赤ちゃんの泣き声に包まれて、知らず知らずのうちに癒される空間となっています。

甲南油脂(株)

設立	平成4年7月
資本金	100百万円
グループ計持株比率	51.0%
本社所在地	兵庫県神戸市
代表者	岡田 佳男
事業内容	マーガリン類等の製造販売



総務部長
川畑 誠一郎

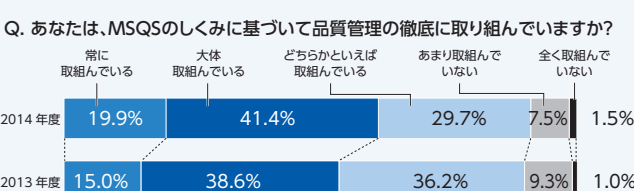
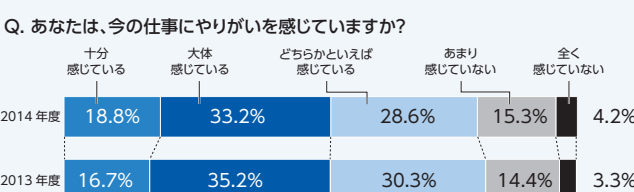
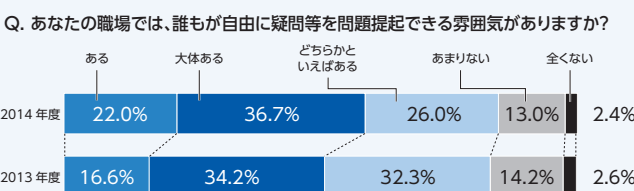
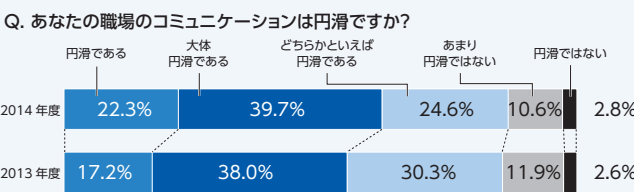
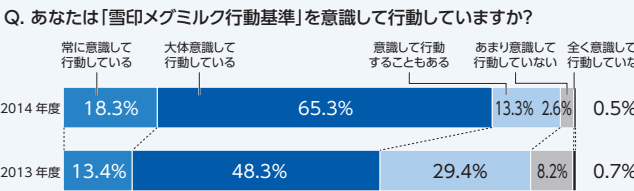
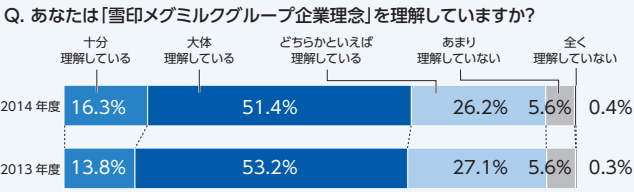
阿見工場が操業開始して甲南油脂の役割も若干変わっていくものと思われますが、今後もさまざまなチャレンジでグループ会社の一員として貢献したいと考えています。

ISO26000と雪印メグミルクグループ活動との対比

2010年11月に発行されたCSRに関する国際規格であるISO26000「社会的責任に関する手引」に掲げられている7つの中核主題ごとに「活動報告書2015」に掲載している取組内容を整理しました。

7つの中核主題	当社取組み内容	
1. 組織統治	雪印メグミルクグループ企業理念	P1
	コーポレート・ガバナンス体制	P5、35
	企業倫理委員会の設置	P35、36、45、46
	CSR経営に関する従業員アンケート	P6、44
2. 人権 3. 労働慣行	人事基本方針	P31
	人材育成研修の実施	P31、32
	女性活躍推進に向けた取組み	P32
	内部通報制度の設置と運営	P38
4. 環境	環境方針の策定	P25
	環境マネジメント体制	P25
	ISO14001 認証の取得・継続	P26、30
	環境監査の実施	P26
	CO ₂ 排出量とエネルギー使用量の削減	P27
	廃棄物・食品廃棄物の削減とリサイクルの推進	P27
	環境保全活動紹介	P29、30
5. 公正な事業慣行	雪印メグミルクグループ行動規範、雪印メグミルク行動基準の策定	P37
	CSRグループ活動の実施	P6
	「食の責任を強く認識し、果していくことを誓う日の活動」の実施	P37
6. 消費者課題	雪印メグミルク品質保証方針の策定	P20
	雪印メグミルク品質保証システム(MSQS)の構築と運用	P20
	危機管理体制(商品事故発生時の対応)の構築	P38
	企業倫理委員会 品質・消費者・表示部会	P35、36
	お客様センターの設置と運営	P20
	お客様満足向上ミーティングの開催	P21
	お客様モニター制度の実施	P21
	食育活動紹介	P33
7. コミュニティへの参画 およびコミュニティの発展	酪農生産への貢献	P15-18
	地域・社会との取組み紹介	P34
	スポーツ振興への取組み	P34
	雪印こどもの国牧場の運営	P34

PAGE 06 雪印メグミルク「CSR経営に関する従業員アンケート」結果(抜粋)



アンケート結果(%)は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

PAGE 17 酪農諮問委員会 委員一覧

任期: 2014年4月1日～2016年3月31日

諮問委員	まつした たかゆき 松下 隆之	元JA道東あさひ 理事、酪農生産者
	くろさわ かんじゅう 黒沢 寛寿	元全国酪農青年女性会議 顧問、酪農生産者
	まつお ようじ 松尾 要治	元全国農業協同組合連合会 酪農部長
	すすき のぶひろ 鈴木 宣弘	東京大学大学院農学生命科学研究科 教授
	やまか まるあつ 矢坂 雅充	東京大学大学院経済学研究科 准教授
	こはやし しんいち 小林 信一	日本大学生物資源科学部 教授

見学いただける工場・歴史館の連絡先

- 日本の酪農・乳業
に関わる史料

雪印メグミルク(株)酪農と乳の歴史館
北海道札幌市東区苗穂町6丁目1番1号 TEL：011-704-2329
- 牛乳類・飲料・
はっ酵乳

雪印メグミルク(株)札幌工場
北海道札幌市東区苗穂町6丁目1番1号 TEL：011-704-2329
(受付は雪印メグミルク(株)酪農と乳の歴史館で行なっています。)
- ナチュラル
チーズ

雪印メグミルク(株)なかしべつ工場
北海道標津郡中標津町丸山2丁目9番地 TEL：0153-72-3281
- ナチュラル
チーズ

雪印メグミルク(株)大樹工場
北海道広尾郡大樹町緑町35 TEL：01558-6-2121
- 牛乳類・
デザート

みちのくミルク(株)本社工場
宮城県大崎市岩出山下野目字八幡前60-1 TEL：0229-72-2011
- プロセスチーズ・
マーガリン

雪印メグミルク(株)阿見工場
茨城県稲敷郡阿見町星の里22番地 TEL：029-829-5236
- 牛乳類・飲料・
はっ酵乳

雪印メグミルク(株)野田工場
千葉県野田市上三ヶ尾字平井256-1 TEL：04-7122-2246
- 牛乳類・飲料・
はっ酵乳

雪印メグミルク(株)海老名工場
神奈川県海老名市中新田5丁目26番1号 TEL：046-240-6300
- デザート・
クリーム

雪印メグミルク(株)豊橋工場
愛知県豊川市伊奈町南山新田350番地79 TEL：0533-78-3711
- 牛乳類・
はっ酵乳

雪印メグミルク(株)京都工場
京都府南丹市八木町美里紫野1番地 TEL：0771-43-2150
- 牛乳類・飲料・
はっ酵乳

雪印メグミルク(株)京都工場 池上製造所
京都府南丹市八木町池上古里1番1 TEL：0771-42-6871
- 牛乳類・
飲料

雪印メグミルク(株)神戸工場
兵庫県神戸市西区伊川谷町潤和824-1 TEL：078-912-2121

●工場・歴史館の見学のご案内

工場・歴史館の見学をご希望の場合は、お手数ですが、あらかじめ各工場・歴史館にお電話でご予約願います。

PAGE 35 第6期 企業倫理委員会・専門部会委員一覧

肩書きは2015年3月31日現在		
社外委員	えざわ いくこ 江澤 郁子	日本女子大学名誉教授 企業倫理委員会委員長 医学博士・栄養学の 有識者
	ひわき のぶこ 日和佐 信子	元 全国消費者団体連絡会 事務局長 雪印メグミルク(株) 社外取締役
	あなん ひさ 阿南 久	元 消費者庁長官 元 全国消費者団体連絡会 事務局長 消費者関連の有識者
	かわぐち ひろのり 河口 洋徳	経営倫理実践研究センター 専務理事 企業倫理の有識者
	たかや さとし 高谷 幸	日本食品衛生協会 専務理事 品質の専門家
	おざわ りえこ 小澤 理恵子	元 日本生活協同組合連合会 共済事務センター 部長スタッフ 消費者関連の有識者
社内委員	こばやし としお 小林 俊夫	長島・大野・常松法律事務所 弁護士 法律の専門家
	もりた まき 森田 満樹	消費生活コンサルタント 消費者関連の有識者
	とくやま じろう 遠山 二郎	労働組合中央執行委員長 労働組合の代表者
	いしだ たかひろ 石田 隆廣	代表取締役副社長 経営全社社長補佐 総務・秘書室・人事 担当
社内委員	つちおか ひであき 土岡 英明	取締役執行役員 CSR・広報・ 広域営業 担当
	えんどう さとる 遠藤 悟	取締役執行役員 生産統括・生産管理 副 担当(生産統括部長 委嘱)

1. 企業倫理委員会・品質部会委員 肩書きは2015年3月31日現在		
社外委員	たかや さとし 高谷 幸	日本食品衛生協会 専務理事 品質部会長 企業倫理委員会 委員兼任
	さとう くにおろ 佐藤 邦裕	元 日本生活協同組合連合会 本部長スタッフ 品質管理担当 品質部会委員専任
	もりた まき 森田 満樹	消費生活コンサルタント 企業倫理委員会 委員兼任
社内委員	さいとう けんいちろう 齋藤 健一郎	品質保証部副部長 表示部会委員兼任

2. 企業倫理委員会・消費者部会委員 肩書きは2015年3月31日現在		
社外委員	ひわき のぶこ 日和佐 信子	元 全国消費者団体連絡会 事務局長 消費者部会長 企業倫理委員会 委員兼任
	あなん ひさ 阿南 久	元 消費者庁長官 元 全国消費者団体連絡会 事務局長 企業倫理委員会 委員兼任
社内委員	つちおか ひであき 土岡 英明	取締役執行役員 企業倫理委員会 委員兼任

3. 企業倫理委員会・表示部会委員 肩書きは2015年3月31日現在		
社外委員	おざわ りえこ 小澤 理恵子	元 日本生活協同組合連合会 共済事務センター部長スタッフ 表示部会長 企業倫理委員会委員兼任
	いたくら こ 板倉 ゆか子	消費生活アナリスト・放送大学 非常勤講師 元国民生活セン ター商品テスト部調査役 表示部会委員専任
	もりた まき 森田 満樹	消費生活コンサルタント 企業倫理委員会 委員兼任
社内委員	こにし ひろあき 小西 寛昭	取締役執行役員 研究開発部長委嘱 表示部会委員専任
	さいとう けんいちろう 齋藤 健一郎	品質保証部副部長 品質部会委員兼任
	さかぐち こうじ 坂口 高司	CSR部長 表示部会委員専任

- 2015年度「企業倫理委員会提言」
- 2015年度のスタートに際し、企業倫理委員会として下記の通り提言いたします。
1. 全役員・従業員が雪印メグミルクグループ企業理念の実現と、コンプライアンス確立に向け、以下の項目に取り組みましょう。
 - (1) 社内のコミュニケーションを深めるように意識し、工夫しましょう。
 - (2) 一人ひとりが積極的かつ責任を持った行動に努め、明るく活力のある職場をつくっていきましょう。
 - (3) 「雪印メグミルク行動基準」について、全役員・従業員が理解を深め、実践していきましょう。
 - (4) 多くの女性従業員がいきいきと活躍できるよう環境を整備し、女性の活躍を推進していきましょう。
2. 専門部会(品質部会・消費者部会・表示部会)の提言は、下記の各部会からの提言を参照願います。

- 2015年度「品質部会提言」
1. 品質トラブルおよび品質苦情の共有化を図り、製造工程における品質課題の解決に向けて、効果的な対策を推進しましょう。
 2. 従業員一人ひとりの製造技術、保全技術、衛生管理、検査分析技術のレベルアップが必要です。そのため、本社での研修とe-ラーニングを効果的に実施し、工場での後継者育成を見据えた教育・研修を充実させましょう。
 3. 5Sは品質管理の基本であり、5Sガイドラインの内容にそった活動を全員参加で継続して取り組みましょう。また、グループ全体のレベルアップを図りましょう。

- 2015年度「消費者部会提言」
- 雪印メグミルクは、消費者重視を経営の基本のひとつに位置づけています。
- その観点から、下記の項目を着実に実行していきましょう。
1. 重要なステークホルダーである消費者との対話(ダイアログ)の場である消費者部会の充実・発展を図り、企業と消費者との協働による取組みを継続させましょう。
 2. 引き続き、消費者の声・意見・要望を傾聴し、誠実にこたえていきましよう。また、消費者が知りたい情報を効果的に届ける情報発信を継続していきましょう。

- 2015年度「表示部会提言」
- ～ 消費者の適切な商品選択に資するために ～
1. 商品の表示や広告等では、消費者が求める情報、消費者に伝えるべき情報を適切に判断し、「商品パッケージ任意表示基本マニュアル」に従い、消費者に誤認や誤解を与えないよう、正確に表現しましょう。
 2. 新しい「食品表示法」の食品表示基準に、適切かつ速やかに対応しましょう。今後も、事業者として実情を踏まえ、意見を表明していきましょう。
 3. 商品の表示や広告等での表現は、消費者重視経営を実践していく姿勢を示すものです。誤認や誤解を与えない正確な表示に取り組んでいることを社内外に向けて、伝えていきましょう。

- 企業倫理委員会実施状況
- 対象期間:2014年4月～2015年3月
1. 定例委員会(12回)
 - (1) 主な討議事項
 - ・2014年度企業倫理委員会提言内容について
 - ・商品表示(宅配商品、飲料・ヨーグルト・デザート他)改善提言事項について
 - ・「雪印メグミルクグループ活動報告書2014」構成、内容について
 - ・「雪印メグミルク株式会社CSR経営に関する従業員アンケート」内容と結果対応について
 - ・「雪印メグミルクグループCSR社員アンケート」内容と結果対応について
 - ・「酪農生産への貢献」について
 - (2) 主な報告事項
 - ・経営概況報告(四半期毎)
 - ・CSR委員会実施内容(第10・11・12回)
 - ・「食の責任を強く認識し、果していくことを誓う日の活動」の実施内容
 - ・商品の社告・自主回収の実施について
 - ・第5期お客様モニターの実施について
 - ・企業倫理委員会提言に対する取組み状況について
 - (3) 月次定例報告事項
 - ・部会実施報告(品質部会、消費者部会、表示部会)
 - ・苦情分析結果報告(発生件数、苦情内容、発生原因、他)
 - ・広報概況報告(社内外情報発信内容、お客様の声入電概要、マスコミ報道概況、他)
 - ・CSRグループ活動実施概要
 - ・ホットライン通報状況および対応状況について

PAGE 36 企業倫理委員会消費者部会に参加いただいている主な団体一覧

団体名 50音順	
関東	関西
主婦連合会	NPO法人京都消費生活有資格者の会
全国消費者団体連絡会	NPO法人コンシューマーズ京都
全国消費生活相談員協会	関西消費者協会
東京都消費者団体連絡センター	全大阪消費者団体連絡会
東京都消費者月間実行委員会	なにわの消費者団体連絡会
東京都地域婦人団体連盟	奈良県生活協同組合連合会
日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会	日本消費経済新聞社
日本生活協同組合連合会	日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 西日本支部

雪印メグミルクグループの「活動報告書2015」へのご意見・ご感想をお聞かせください。

雪印メグミルクグループの「活動報告書2015」をご覧ください、ありがとうございました。本報告書についてのご意見・ご感想などをお聞かせください。今後の雪印メグミルクグループの企業活動や報告書作成に反映していきたいと考えております。お手数ですが、アンケート用紙にご記入の上、お送りいただけますようお願い申し上げます。

PAGE 37 2つの事件について

- 雪印乳業食中毒事件
- 2000年6月に雪印乳業(株)大阪工場製造の低脂肪乳などにより発生した食中毒事件。6月27日大阪市保健所に最初の食中毒患者のお申し出がありました。調査の結果、雪印乳業(株)大樹工場で製造された脱脂粉乳が停電事故で汚染され、それを再溶解して製造した脱脂粉乳を大阪工場で原料として使用していたことがわかりました。その脱脂粉乳に黄色ブドウ球菌が産生する毒素(エンテロトキシン)が含まれていたことが原因でした。雪印乳業(株)は事件直後の対応に手間取り、商品の回収やお客様・消費者への告知に時間を要したため、被害は13,420人に及びました。この事件によって社会に牛乳・乳製品をはじめとする加工食品の製造に、不信と不安を抱かせるだけでなく、乳等省令についての乳業界の解釈と社会の理解との乖離が明らかになるなど、社会に対して大きな影響を与えてしまいました。

- 雪印食品牛肉偽装事件
- 雪印乳業(株)の子会社であった雪印食品(株)が、国のBSE対策事業を悪用し、安価な輸入牛肉を偽って、国産牛肉として申請し、交付金を不正に受給したもので、明らかな詐欺事件。2002年1月23日の朝日、毎日両新聞に掲載されたことで発覚しました。背景には、前年のBSE牛発生に伴い、食肉業界全体で、消費者の牛肉買い控えによる大量の在庫を抱えるという状況がありましたが、最大の原因は、企業倫理に反した当事者の考えや上司の指示が根底にあったことです。事件発覚から3ヵ月後の2002年4月末に、雪印食品(株)は解散するに至りました。

人事データ

2015年3月31日現在			
	2013年度	2014年度	範囲または時点
社員数(連結)	4,917名	4,875名	連結会社計
社員数(単体)	3,130名	3,091名	
男性	2,712名	2,677名	雪印メグミルク(株)
女性	418名	414名	
女性管理職	12名	13名	雪印メグミルク(株)
女性管理職比率	1.73%	2.0%	(出向者を含む)
平均年齢	39.5歳	39.4歳	雪印メグミルク(株)
平均勤続年数	12.1年	12.4年	雪印メグミルク(株)
障がい者雇用率	1.87%	1.98%	雪印メグミルク(株)
育児休業利用者	34名	29名	
内育児休業男性社員利用者	4名	4名	
子育て支援休暇利用者	33名 (のべ153日)	35名 (のべ97日)	2014年度利用者数 雪印メグミルク(株) (出向者を含む)
看護休暇制度利用者	63名 (のべ271日)	80名 (のべ361日)	
短時間勤務制度利用者	24名	33名	

本誌をご希望の方は、雪印メグミルク(株)フリーダイヤルへご連絡願います。
● 雪印メグミルク お客様センター
0120-301-369 (9:00～19:00 年中無休)
雪印メグミルク(株)ホームページでも、本報告書を公開いたします。
● CSRの確立に向けて > 活動報告書
http://www.meg-snow.com/csr/report/

「車の両輪関係」が 末永く続くことを願っています

関東生乳販売農業協同組合連合会は国内生乳生産量の約15%を生産する生産者組織です。本会生産量の13%を取引いただく御社は、関東地域の酪農家にとってたいへん重要な乳業者となっています。

わが国の食品産業の多くは、食生活の国際化、特に洋風化にともなって成長してきましたが、近年では原材料の調達においても国際化、つまり海外依存度を急速に高めています。乳業の成長も食生活の洋風化に負うところが大有りですが、乳業は国内酪農との関係を重要視し、食品産業の中で独自の成長路線を歩んできました。このような酪農・乳業の関係、いわゆる「車の両輪関係」が、今後とも末永く続くことを願っております。

世界に目を向けてみると、中国をはじめとし新興市場における牛乳・乳製品の需要量、特に乳たんぱく質に対する強い需要が推進力となり、乳製品需要は増大することが予測されます。また、世界の生乳生産は8億トン生産されていますが、貿易量は全生乳生産量の9%程度と底が浅い現状です。昨年の生乳需給をみると、バターが市場から消えた等、残念ながら生産基盤の弱体化が進んでいる現状にあります。

また、2015年3月設定された新酪肉近*では、近い将来、わが国の牛乳等向けと加工向けの生乳需要量が逆転すると予測しています。生乳の需給構造に大きな変化が起こり、乳業技術の真価が問われることとなるでしょう。このような状況の中、御社が長年にわたり蓄積してきた技術力をもって、今後ますます飛躍されることを祈念しております。



関東生乳販売農業協同組合連合会
代表理事会長

菊池 一郎 様

※新酪肉近：
農林水産省が2015年3月に策定した新たな「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針」

持続可能な社会のために 消費者と共に 歩んでいってほしい

御社の企業倫理委員会消費者部会では、消費者市民社会実現のため企業と消費者との協働による取組みをさらに進展させることを提言しています。

消費者市民社会とは、「消費者が、個々の消費者の特性及び消費生活の多様性を相互に尊重しつつ、自らの消費生活に関する行動が現在及び将来の世代にわたって内外の社会経済情勢及び地球環境に影響を及ぼし得るものであることを自覚して、公正かつ持続可能な社会の形成に積極的に参画する社会(消費者教育の推進に関する法律第2条2項)」をいいます。持続可能な社会を実現するには、地域をはじめ様々な場で、事業者、消費者など多様な関係者による行動・協働の必要性があります。

昨年度、9つの消費者団体と雪印メグミルクで行なった「消費期限・賞味期限の行動に関わるアンケート」や、牛乳に関するパンフレットを作成したことは、まさに持続可能な社会を形成するための協働の取組みとなりました。

昨年は、残念なことにミルクの異臭問題などもありましたが、受け入れ時検査の改善策などが速やかに示され、消費者部会メンバーも工場視察にて官能検査を体験し、日常的に厳しい評価が行なわれている事を知りました。

今後も消費者の声を傾聴し、安全で美味しい乳製品の提供を通して、持続可能な社会のために消費者と共に歩む雪印メグミルクグループであり続ける事を期待しています。



主婦連合会
会長

有田 芳子 様

真摯に行われている 消費者重視のCSR活動

2000年、2002年と相次いで発生した2つの事件は大きなインパクトがあり記憶に残っています。その後10年以上の歳月が流れ、新しく生まれ変わった雪印メグミルクグループにおいては事件を知らない社員も増えてきたものと思います。しかし同社グループは、事件を風化させないための取組みを継続的に実施してきました。その状況は日本経営倫理学会などで度々報告されており、極めて真摯な取組みに好感を持って拝聴して参りました。

同社グループの活動報告書の最大の特徴は、消費者重視のCSR活動を実施している点にあります。品質管理などの直接的な取組みは然ることながら、社外の目を経営の意思決定に反映させる仕組みを備えたガバナンス、食の安全を強く意識したコンプライアンス・リスクマネジメントの仕組みなど、全てが「食の責任」に帰結しています。これらは、事件後10年以上の取組みが形となって結実したものと思われ、高く評価できます。

さらに企業価値を高める活動報告書に昇華することを期待して、あえて提言をするならば、自然災害への対策の記述も加えてはいかがでしょうか。東日本大震災以降、事業継続計画(BCP)の策定・運用状況をCSRレポートなどで開示する企業が増えています。同社グループの製造拠点のほとんどが国内にあることから、発災が予測される東海・東南海および南海地震等を想定した対策をさらに進めてこれを開示し、どのような時でも製品を待っているお客様の期待に応えられる企業グループを目指されることを期待しています。

雪印メグミルクグループの消費者重視の真摯なCSR活動に敬意を表するとともに、活動報告書がさらなる企業価値の増進に寄与することを祈念しています。



関西大学 社会安全学部 副学部長・教授
日本経営倫理学会 理事、経営倫理実践研究センター 上席研究員

高野 一彦 様

「志」、 それは生きがいと働きがい、 そして貢献していくこと

4月に神戸工場に経営職として配属になり、製造現場を初めて経験しました。いつも同じ品質のものを維持し続けることがいかに大変かを実感しました。当社は、赤ちゃんからお年寄りまで全世代にわたって必要な食品を製造しています。何よりも安全でおいしいものを造り続ける使命があります。多くの人に喜んで頂いている誇りを持って、製造・品質維持向上のために挑みたいと思っています。

一方、会社は毎日同じ商品を作っている、働く人は生きていく中で環境が常に変化していきます。出産・育児・介護など、全ての人が何かしら係わります。いつか自分も・・・と思えば、お互い助け合えるのではないのでしょうか?会社の制度もフル活用して、あきらめず乗り越えてほしいと思います。また、会社の制度もそうあるべきだと思います。

女性だから、男性だからと区別するのではなく、自分だからできること、得意なことがあるはず。それぞれの得意分野を見つけ出し、活かすことができれば、会社が発展・成長していけるとしています。私はそのような一人ひとりの能力が活きるお手伝いをしたいと思っています。

「あなたの志は何ですか?」今年のNHK大河ドラマで使われている台詞です。改めて考えると、社会人として生きがいを、会社人として働きがいをもち、係わる皆様に少しでも何か貢献できたら最高だなと思いました。



雪印メグミルク株式会社
神戸工場 品質管理課長

高橋 千登勢 さん